



一般会計予算総括表(歳出) (単位: 千円)

区分	12年度当初予算額	11年度予算額 (6月補正後)	伸率(%)
議会費	292,993	294,927	▲0.7
総務費	2,353,917	2,406,142	▲2.2
民生費	4,818,628	5,995,306	▲19.6
衛生費	2,151,804	1,980,858	8.6
労働費	310,878	310,286	0.2
農林水産業費	1,667,650	1,486,937	12.2
商工費	1,041,574	1,052,885	▲1.1
土木費	2,799,158	3,182,570	▲12.0
消防費	952,800	1,005,347	▲5.2
教育費	2,525,462	2,507,294	0.7
災害復旧費	1	1	0.0
公債費	2,603,444	2,541,946	2.4
諸支出金	132,559	111,092	19.3
予備費	30,000	30,000	0.0
合計	21,680,868	22,905,591	▲5.3

市民一人当たりの一般会計予算額

区分	金額 (円)
民生費	7万1,061円
土木費	4万1,279円
公債費	3万8,393円
教育費	3万7,243円
総務費	3万4,713円
衛生費	3万1,733円
農林水産業費	2万4,593円
商工費	1万5,360円
その他	2万5,355円
計	319,730円

※67,810人(平成12年3月1日現在の人口)で換算

財政用語

ひとくちメモ

一般会計 市の行政運営の基本的な経費で、歳入・歳出が中心の会計。主な歳入としては、市税、使用料・手数料などの自主財源や地方交付税、国・県支出金、市債などの依存財源があります。また、主な歳出としては、総務費、民生費などがあります。

特別会計 特定の事業について、その歳入と歳出を一般会計と区別して経理する場合に、法律や条例によって設置する会計。本市の場合、国民健康保険、都市計画などのほか、今年度から新たに介護保険が加わり、18の特別会計を設置しています。

企業会計 地方公営企業の会計で、

・1%の減となりました。
特別会計(十八会計)と企業会計(三会計)の予算総額は、二百九十一億四千八百二十五万一千円となり、新たに介護保険特別会計分の三十三億三千二百四十二万七千円が加わったことにより、率では一三・〇%、額で三十三億五千三百一十一万五千円の増加となりました。
この結果、全会計の予算総額は五百八億二千九百一十一万九千円となり、率で四・四%、額で二十一億二千六百五十九万二千円の増加となりました。